

第4回教育委員会

令和2年3月19日
午後3時30分
大阪市教育センター

案 件

報告第20号

次期「大阪市教育振興基本計画」策定に向けたアンケート調査
結果について

「次期『大阪市教育振興基本計画』策定に向けたアンケート」

調査結果

令和2年3月

大阪市教育委員会事務局

もくじ

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の実施状況	1

II 調査結果

1 回答者の年代構成等	1
2 現状理解について	3
3 教育に関する理念や取組みについて	16
4 教育に対する意見(自由記述)	21

III 資料

結果の数表	30
-------	----

- ・「市民」の前回(平成21年実施)回答は市政モニターによるもの
- ・各選択肢の構成比(%)は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・グラフ中の数字は、特に断り書きのないかぎりすべて構成比を意味し、単位は%としてい
- ・3種類のアンケートを実施し、質問内容等が異なる部分があるため、問の番号は、実際の質問紙とは一致しない。

このアンケートに関するお問い合わせ先

大阪市教育委員会事務局総務部教育政策課(電話:06-6208-9027)

I 調査の概要

1 調査の目的

大阪市教育振興基本計画は、本市教育の基本的な目標や、目標達成のため施策のあり方などを定めた基本計画であり、現計画は令和2年度までの施行期間となっている。

次期「大阪市教育振興基本計画」の策定に向け、次期計画が子どもたちに直に響くものとなるよう、市民、保護者、教職員の声を反映しながら協議をすすめていくために、アンケートを実施。

2 調査の実施状況

- ・実施方法
オンラインアンケート
- ・実施期間
市民 令和元年10月1日～11月22日
保護者、教職員 令和元年10月1日～10月20日

II 調査結果

1 回答者の年代構成等

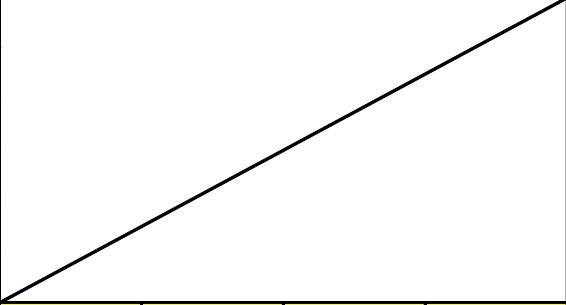
(年代構成)

(単位:人)

	市民 前回	市民 今回	保護者 前回	保護者 今回	教職員 前回	教職員 今回
～29歳	78	25	44	44	200	169
30～39歳	107	116	976	1215	220	233
40～49歳	84	198	1,168	2,608	234	244
50～59歳	90	99	136	355	322	271
60歳以上	161	55	16	8	54	80
無回答	0	3	16	15	5	2
合計	520	496	2,356	4,245	1,035	999

(勤務校園)

(単位:人)

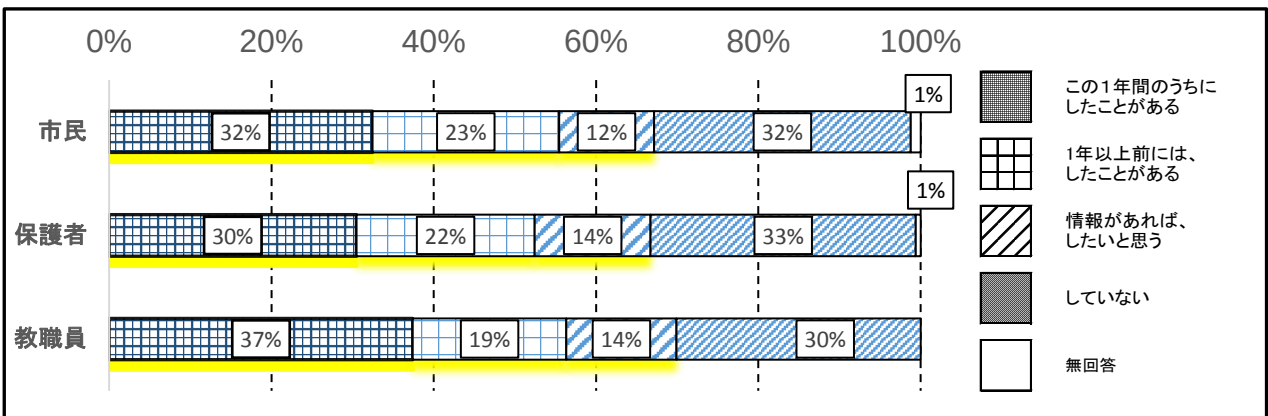
	市民 前回	市民 今回	保護者 前回	保護者 今回	教職員 前回	教職員 今回
幼稚園					71	71
小学校					576	577
中学校					229	275
高等学校					109	74
特別支援学校					50	
無回答					0	2
合計					1,035	999

(回答者の生涯学習の経験など)

生涯学習の経験

【設問】 あなたは、仕事、家庭生活、趣味、教養、スポーツ、社会問題などに関連して、一定期間継続して学習したことがありますか(学校での授業は除きます)。あてはまるものを1つ選んでください。

【☞選択肢】 この1年間のうちにしたことがある／1年以上前には、したことがある／情報があればしたいと思う／していない

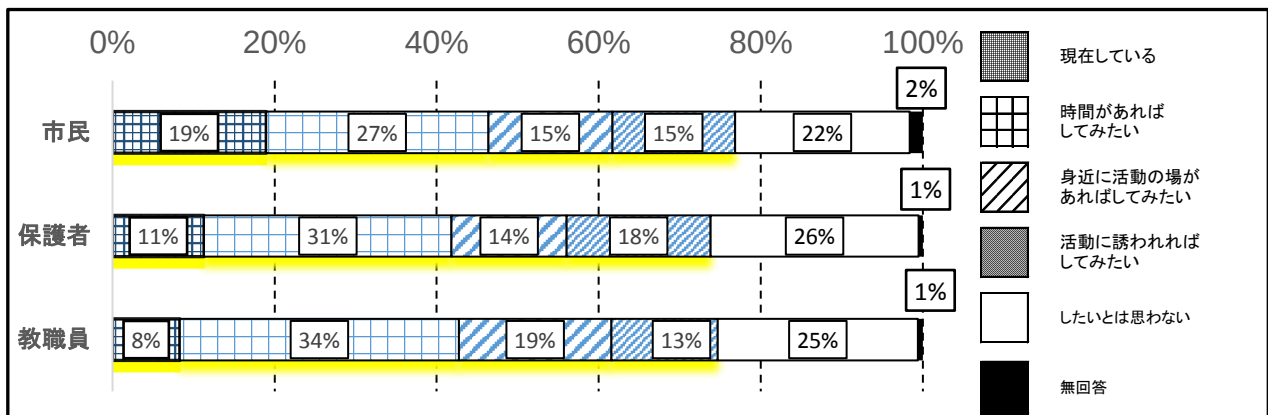


市民、保護者、教職員ともに、50%以上に生涯学習の経験がある。

ボランティア参加

【設問】 あなたは、これまで学んできたことや仕事上の経験などを生かしたボランティア活動に参加していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

【☞選択肢】 現在している／時間があればしてみたい／身近に活動の場があればしてみたい／活動に誘われればしてみたい／したいとは思わない



ボランティア参加については、「現在している」に、「時間があればしてみたい」、「身近に活動の場があればしてみたい」、「活動に誘われればしてみたい」の回答を加えると、7割を超えている。

2 現状理解について

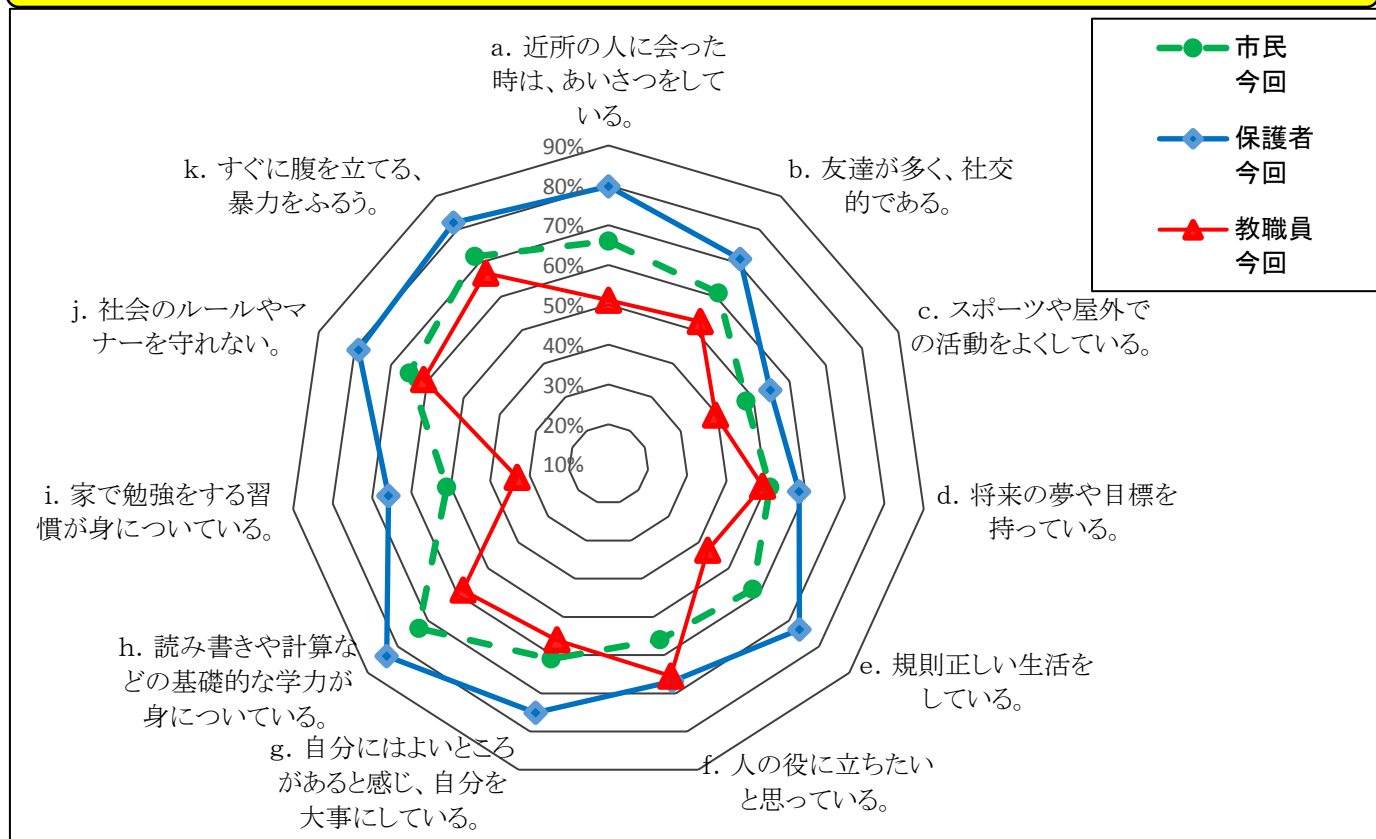
子どもをめぐる現状認識

【設問】 今の子どもたちについて、どのように感じられますか。次の各項目について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

【選択肢】 そう思う／どちらかといえばそう思う／どちらかといえばそう思わない／そう思わない／どちらともいえない・わからない

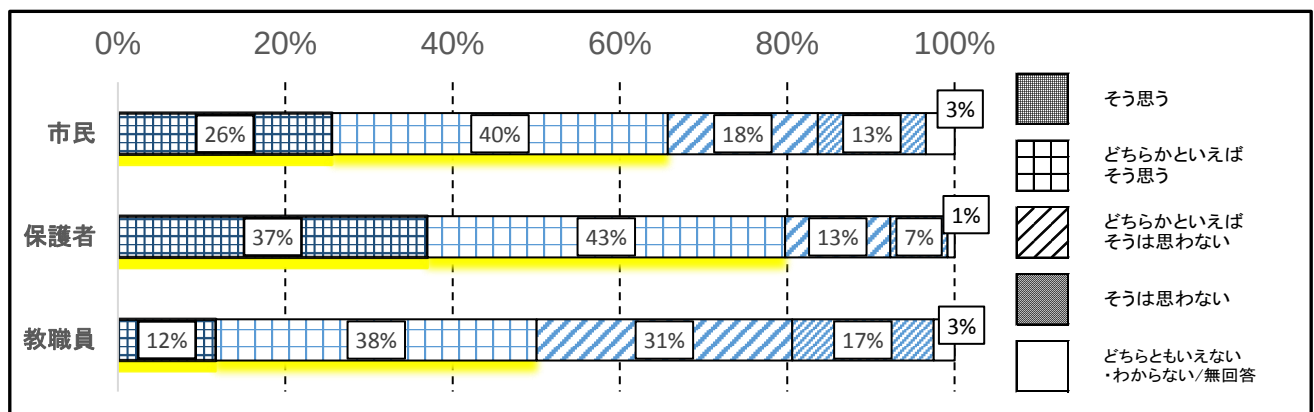
(1) 属性別の肯定的回答の比較

回答の全体の傾向として、子どもの現状については保護者がもっとも肯定的な回答をした人の割合が高く、次いで市民、教職員の順となっており、子どもに対する現状認識の差がうかがえる。

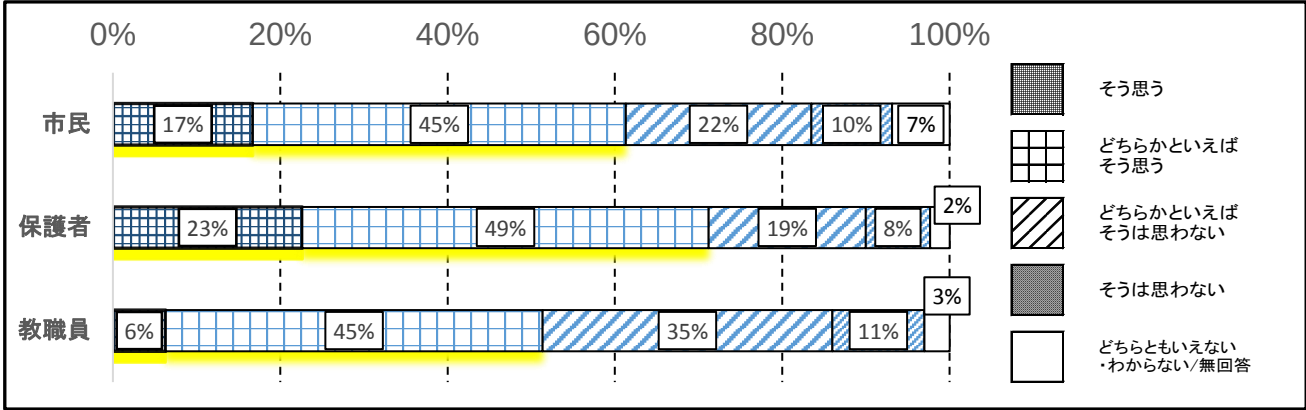


(2) 各設問ごとの回答状況

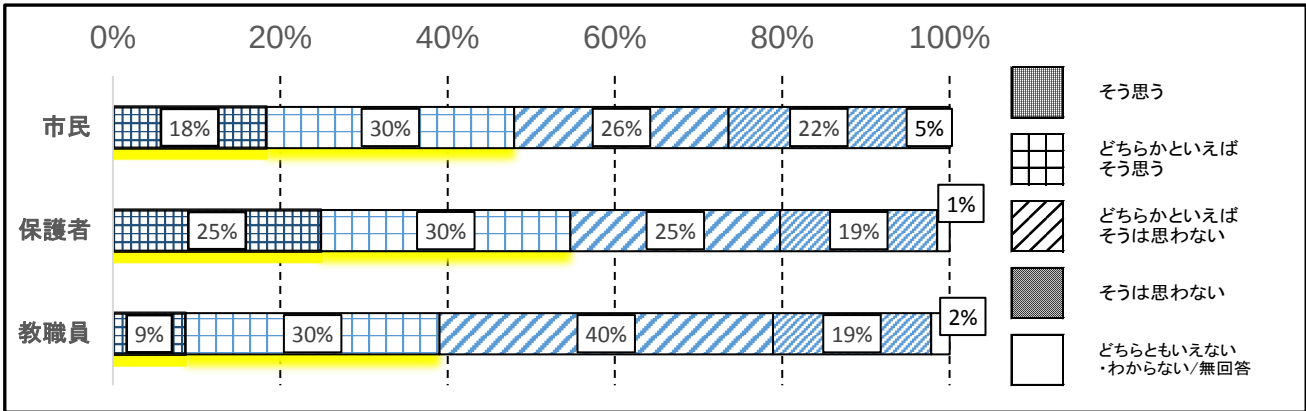
a. 近所の人に出会った時は、あいさつをしている。



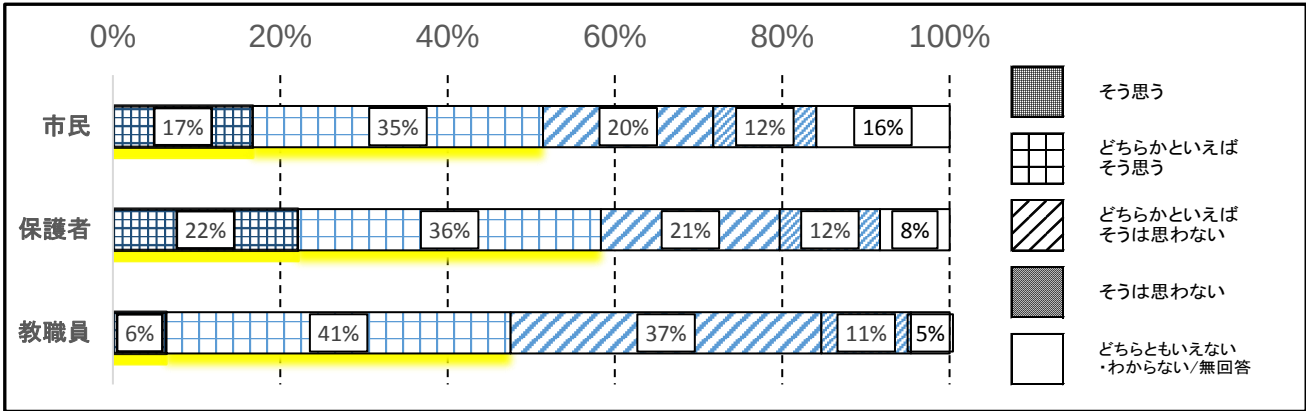
b. 友達が多く、社交的である。



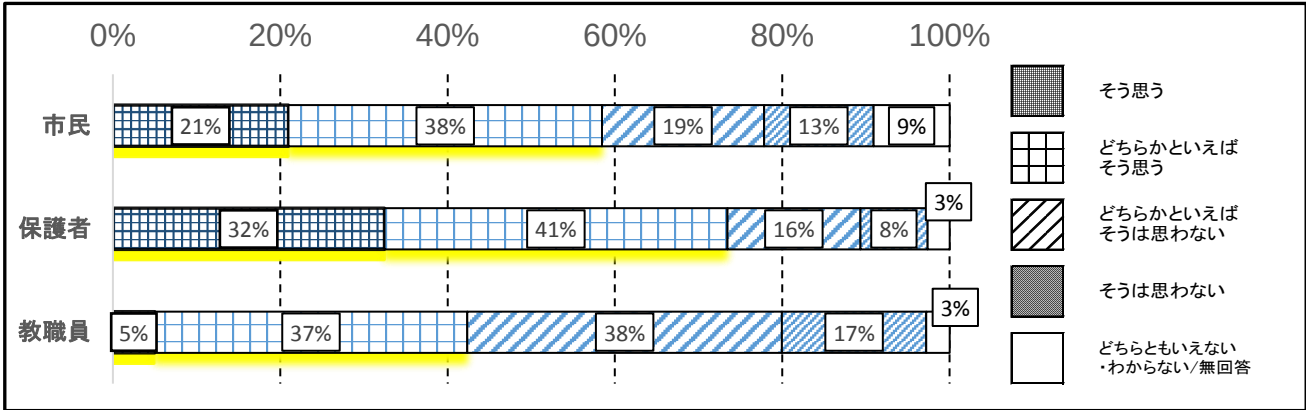
c. スポーツや屋外での活動をよくしている。



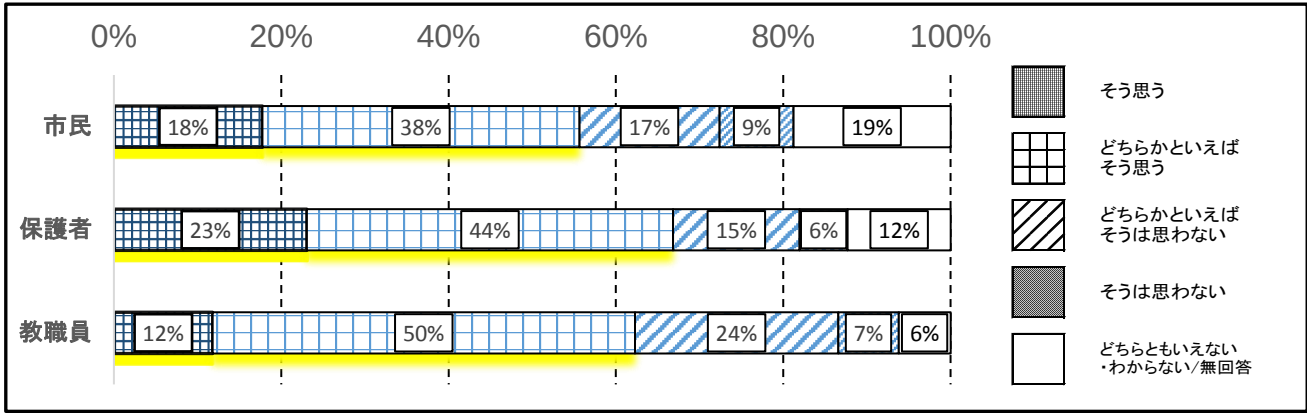
d. 将来の夢や目標を持っている。



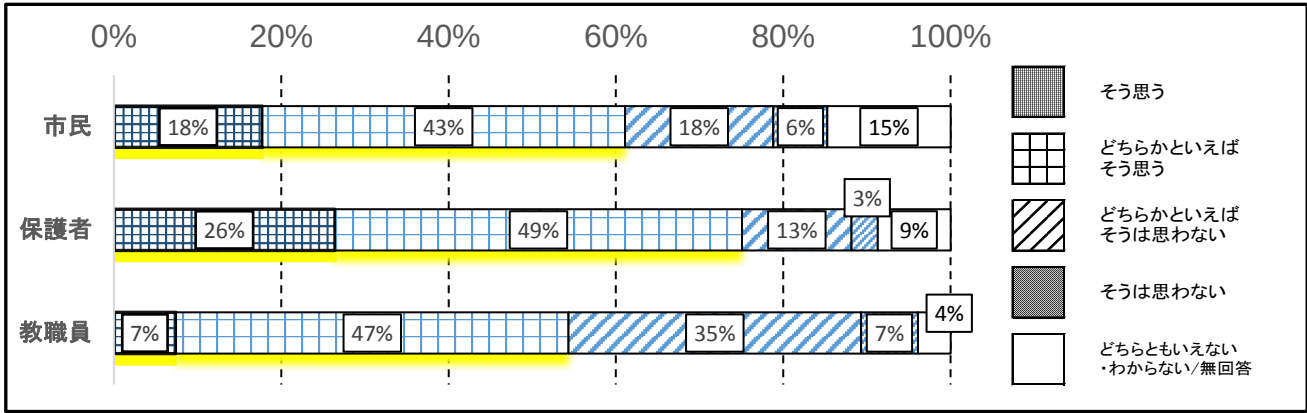
e. 規則正しい生活をしている。



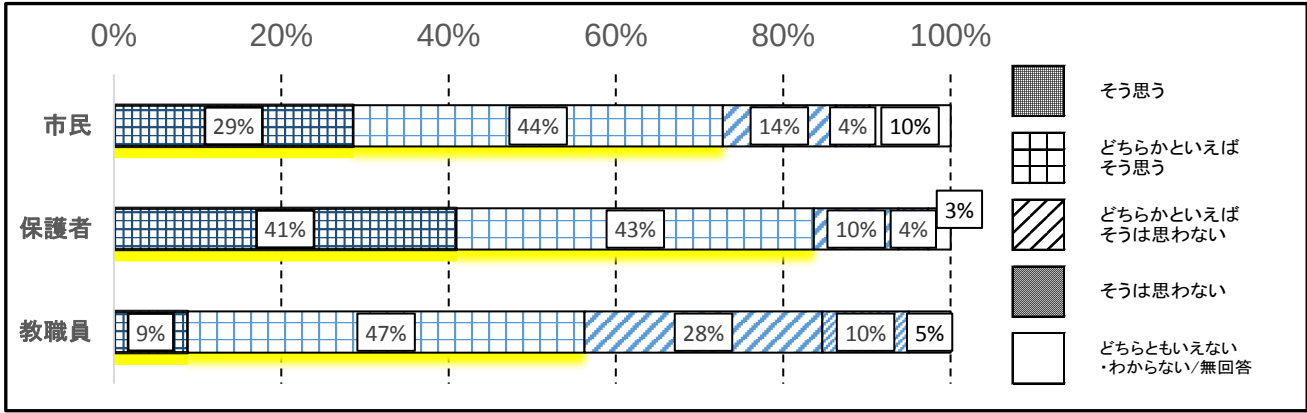
f. 人の役に立ちたいと思っている。



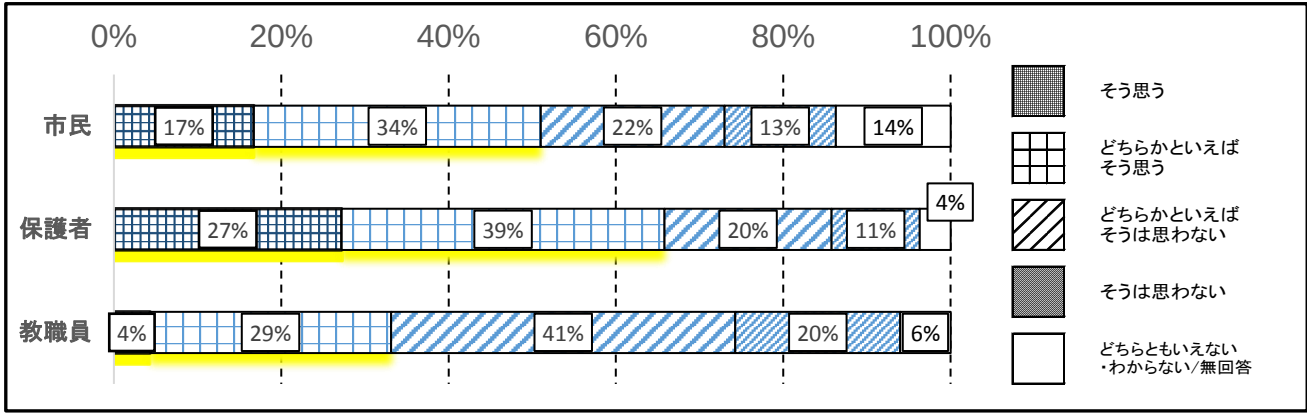
g. 自分にはよいところがあると感じ、自分を大事にしている。



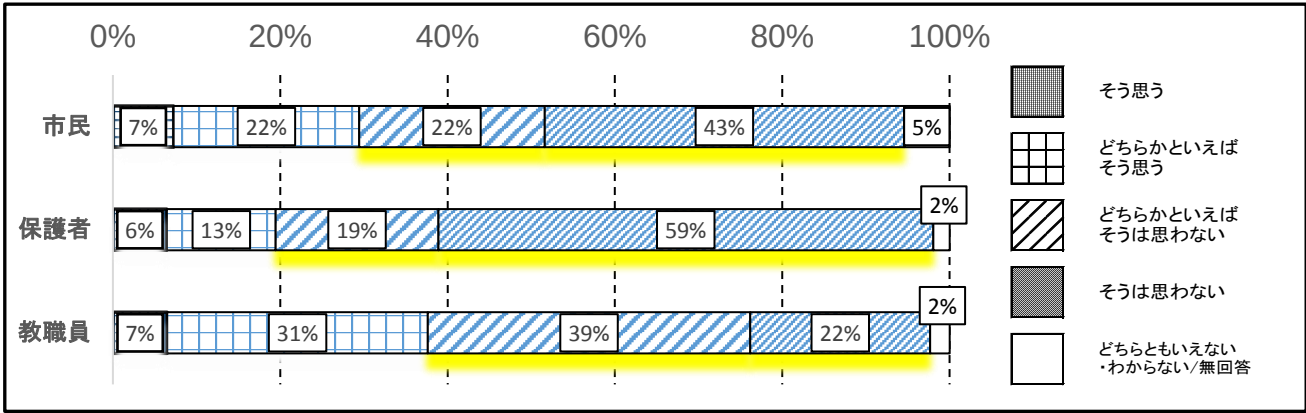
h. 読み書きや計算などの基礎的な学力が身についている。



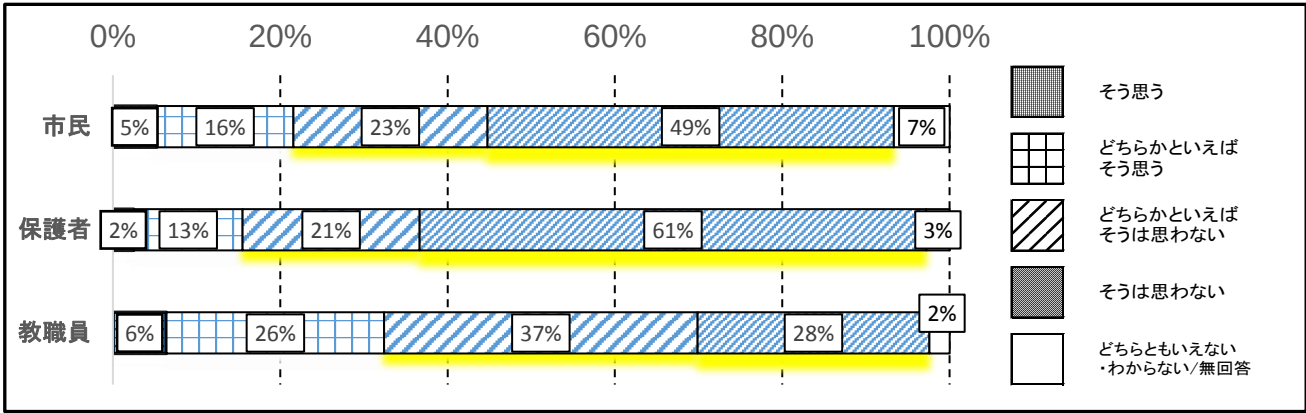
i. 家で勉強をする習慣が身についている。



j. 社会のルールやマナーを守れない。

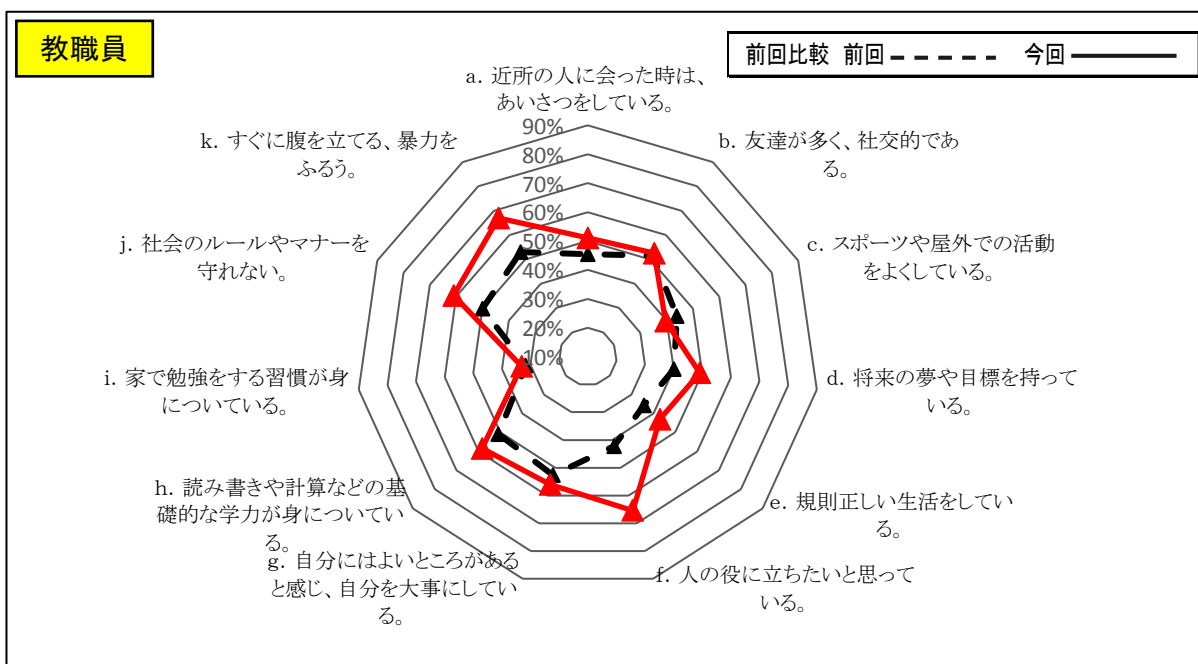
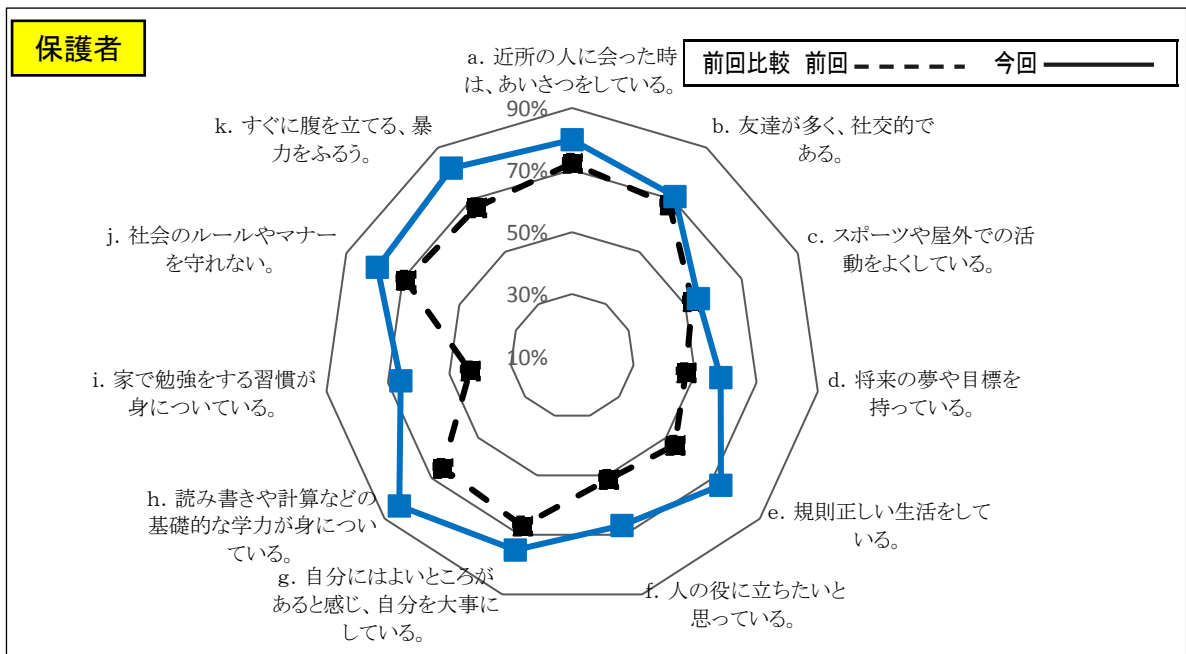
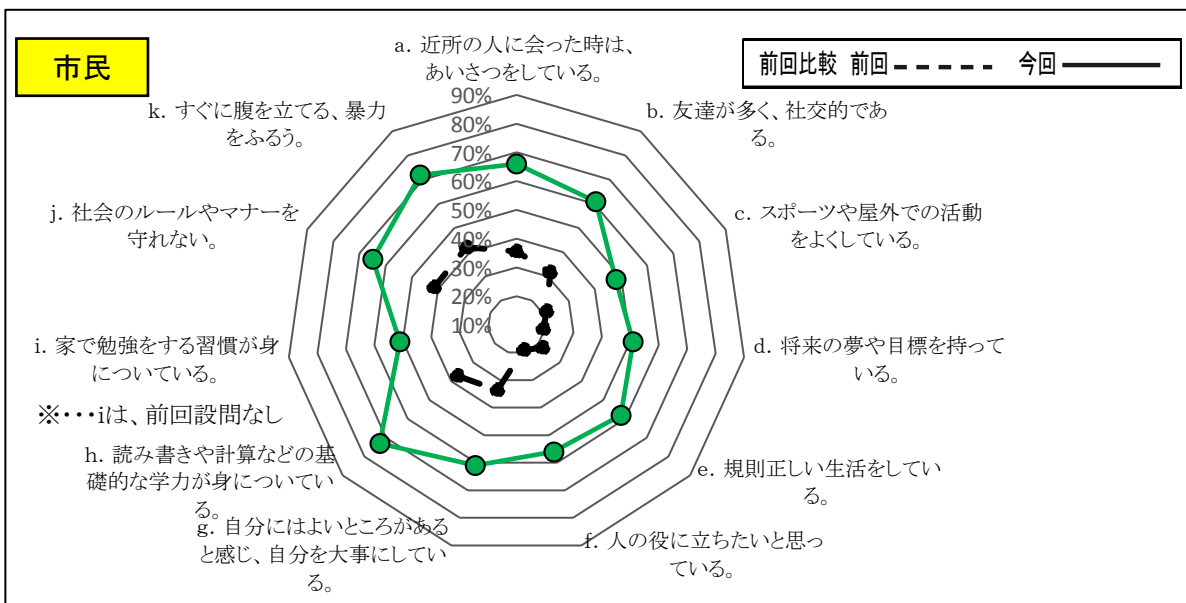


k. すぐに腹を立てる、暴力をふるう。



(3) 前回との比較

前回との比較では、「子どもをめぐる現状認識」で概ね肯定的意見の増加がみられた。



学校園の状況や活動に対する認識

【設問】

(市民)あなたは、大阪市立学校・幼稚園(学校園)の取組みについて、どのように感じていますか。次の各項目について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

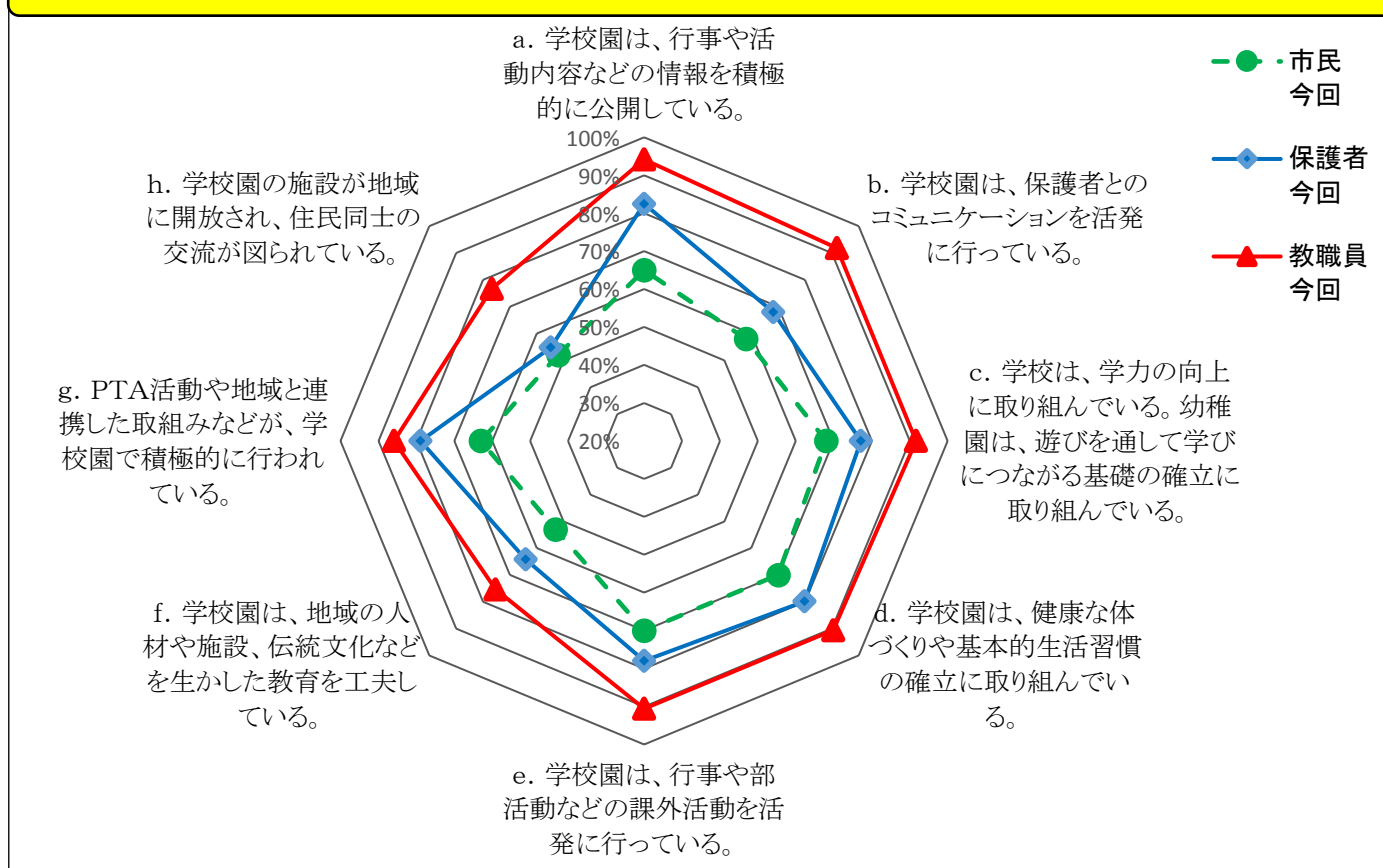
(保護者)あなたは、あなたの子どもが通う、大阪市立学校・幼稚園(学校園)の取組みについて、どのように感じていますか。次の各項目について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

(教職員)あなたは、あなたが勤務する、大阪市立学校・幼稚園(学校園)の取組みについて、どのように感じていますか。次の各項目について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

【選択肢】 あてはまる／どちらからといえばあてはまる／どちらかといえばあてはまらない／あてはまらない／わからない

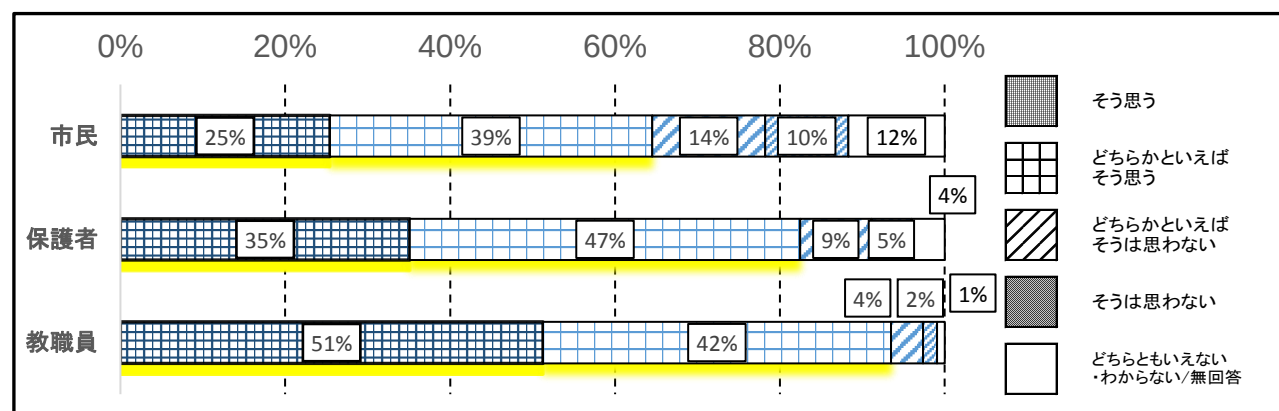
(1) 属性別の肯定的回答の比較

回答の全体の傾向として、学校園の取組みについては教職員がもっとも肯定的な回答をした人の割合が高く、次いで保護者、市民の順となっており、学校園への信頼感に対する現状認識の差がうかがえる。

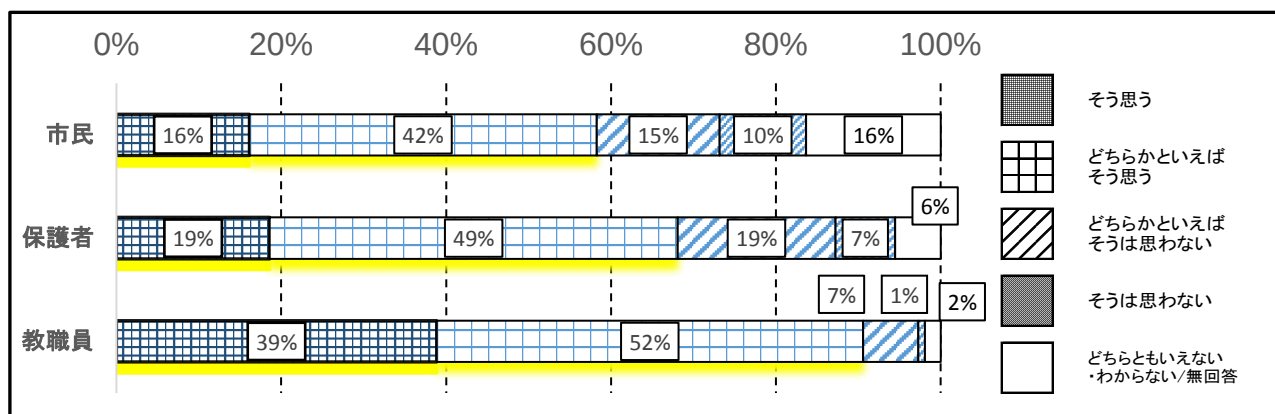


(2) 各設問ごとの回答状況

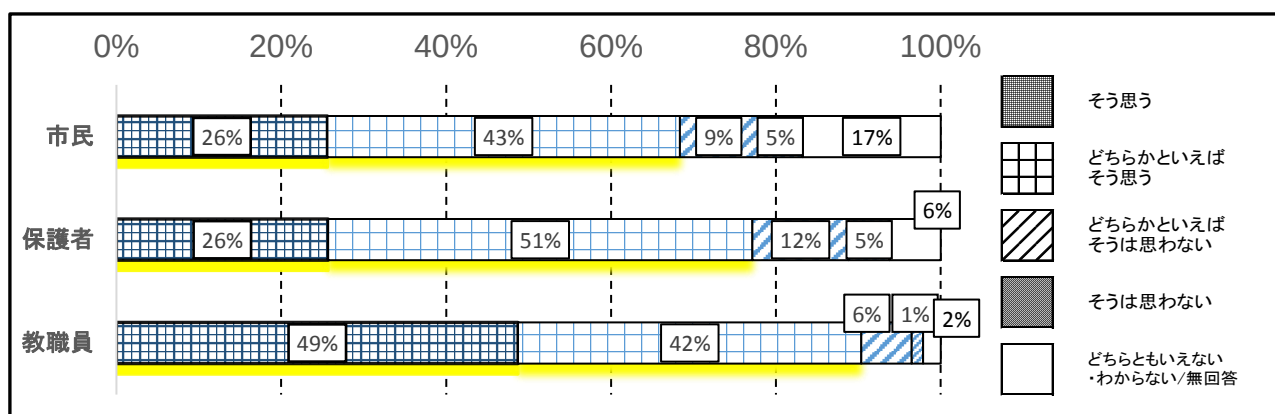
a. 学校園は、行事や活動内容などの情報を積極的に公開している。



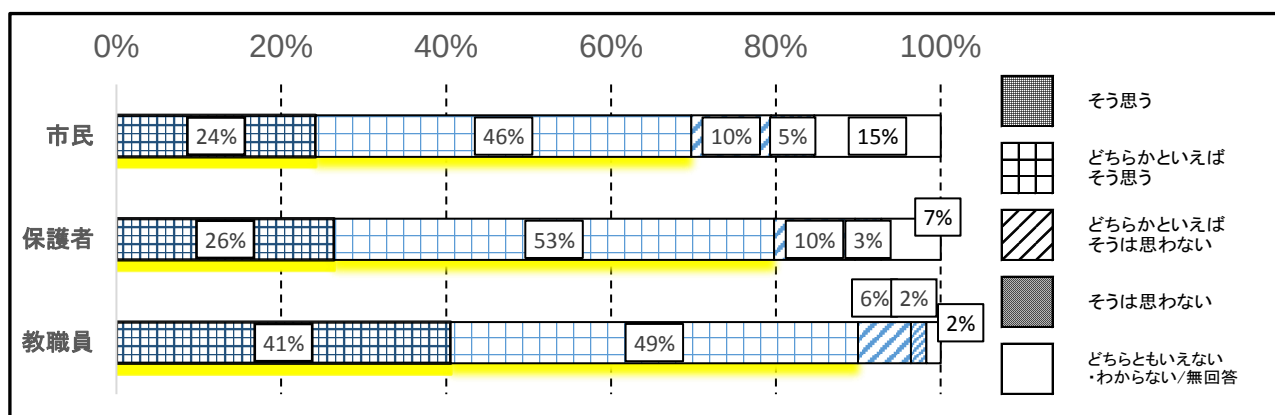
b. 学校園は、保護者とのコミュニケーションを活発に行っている。



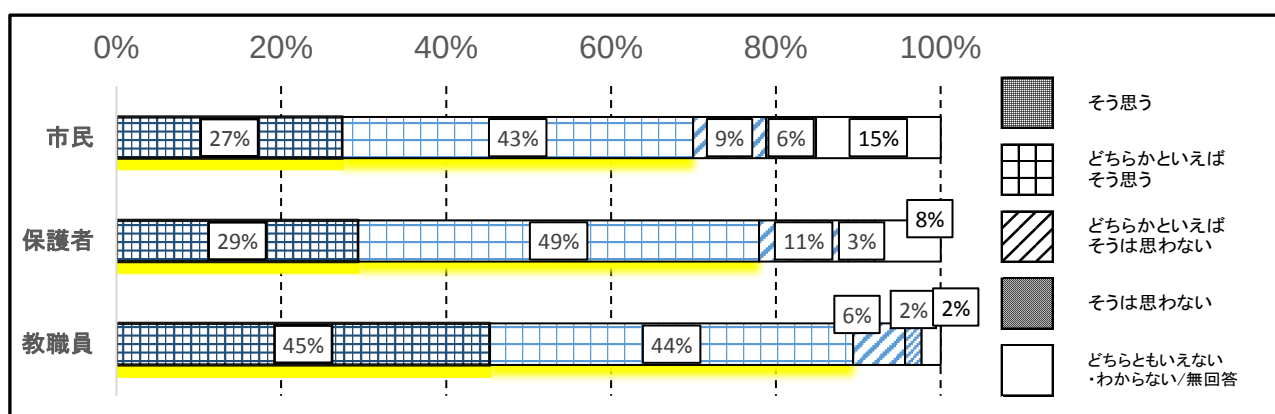
c. 学校は、学力の向上に取り組んでいる。幼稚園は、遊びを通して学びにつながる基礎の確立に取り組んでいる。



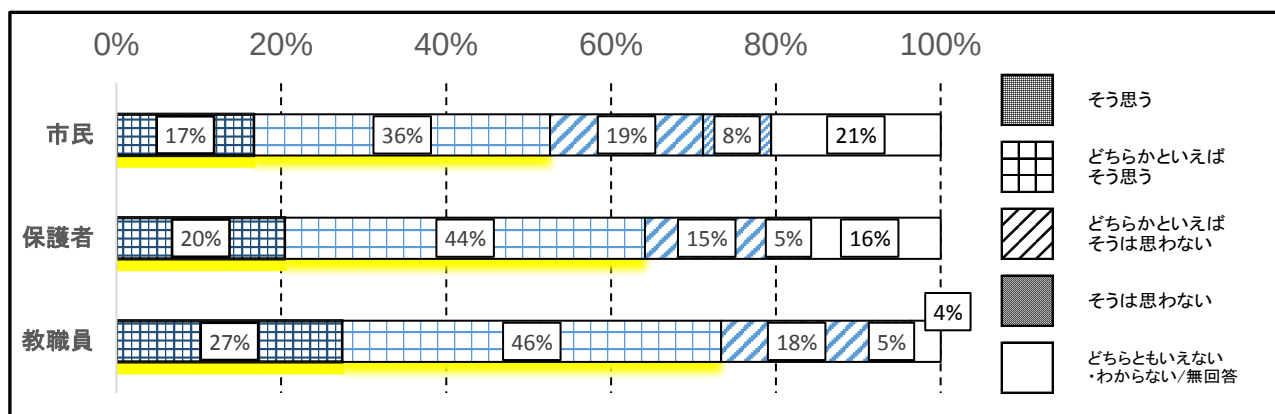
d. 学校園は、健康な体づくりや基本的生活習慣の確立に取り組んでいる。



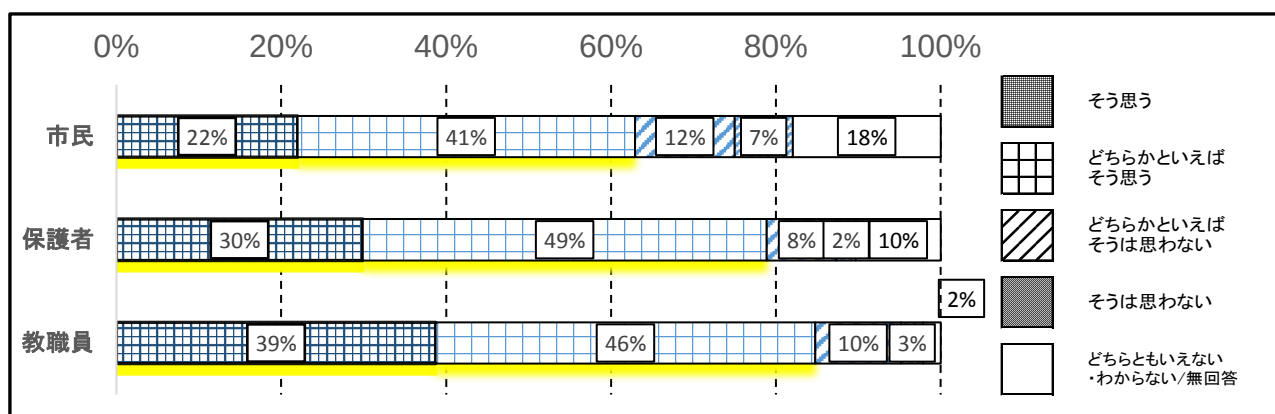
e. 学校園は、行事や部活動などの課外活動を活発に行っている。



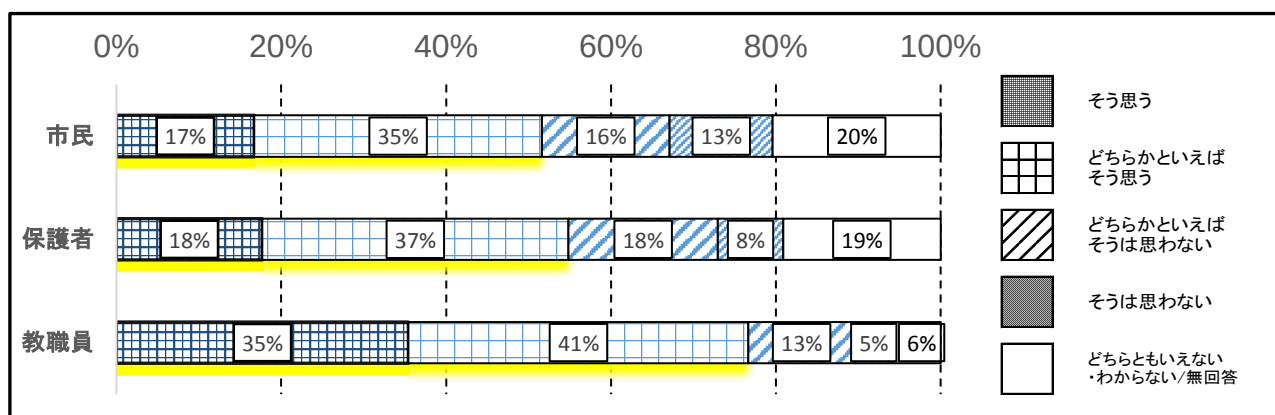
f. 学校園は、地域の人材や施設、伝統文化などを生かした教育を工夫している。



g. PTA活動や地域と連携した取組みなどが、学校園で積極的に行われている。

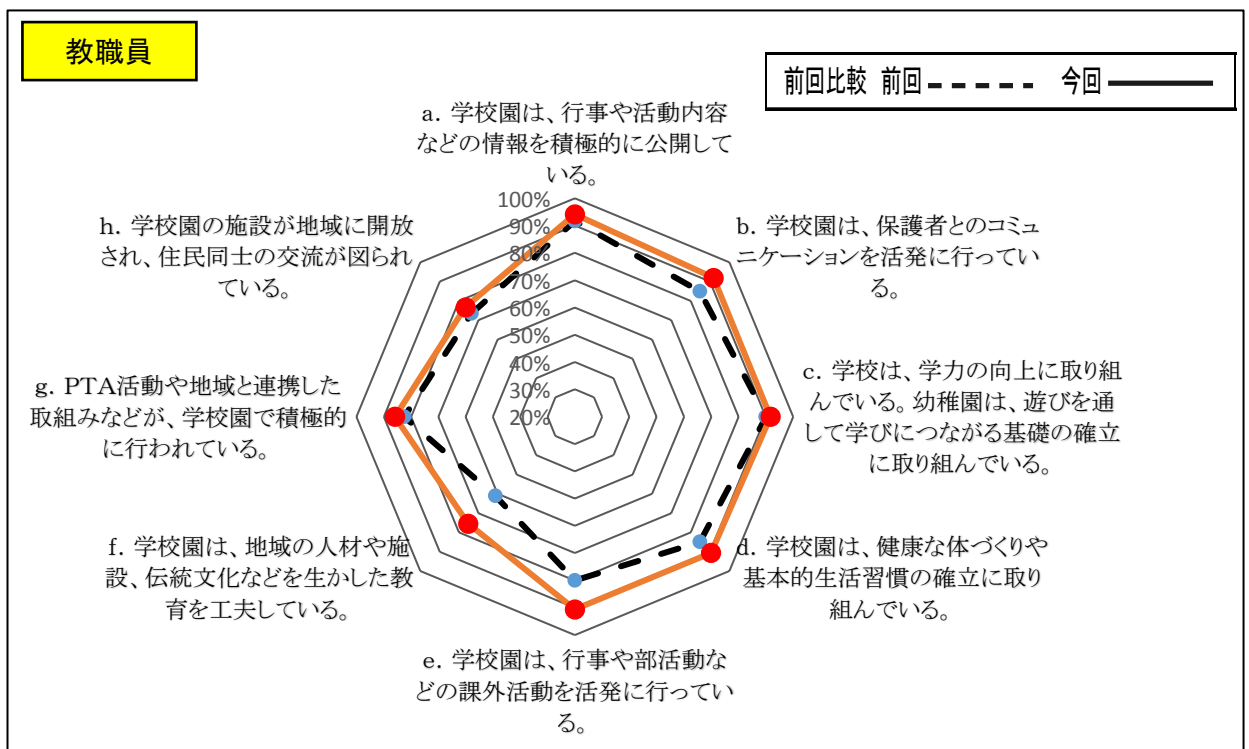
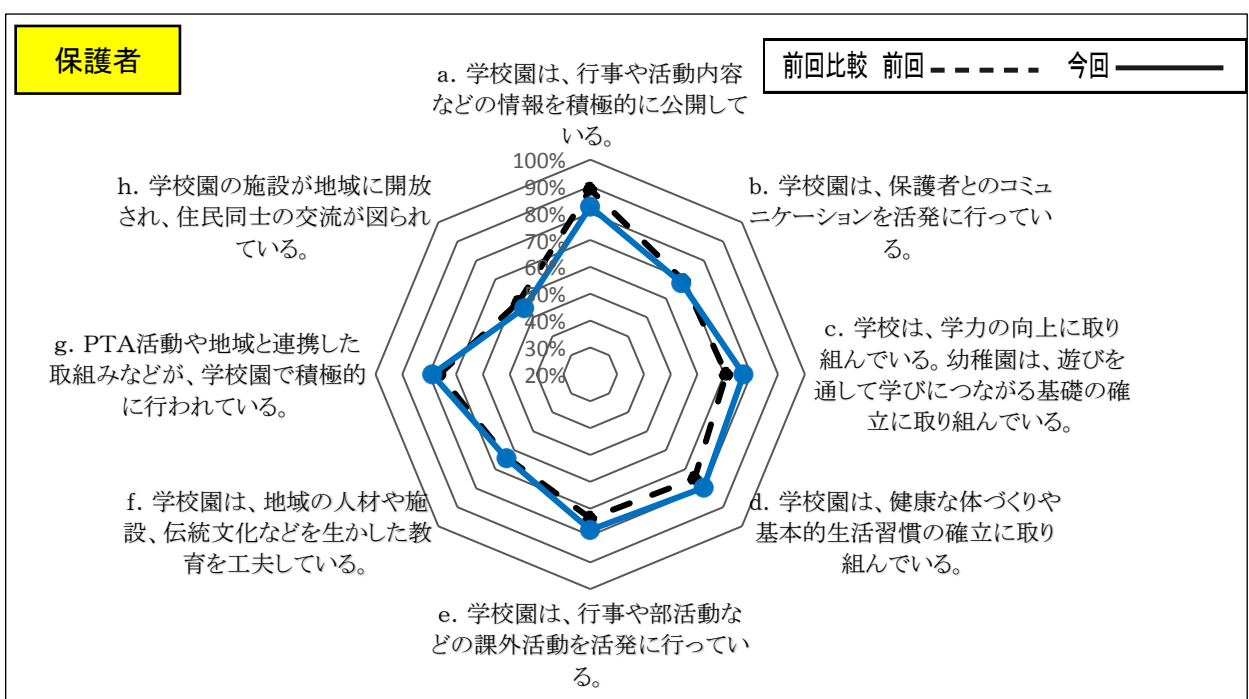
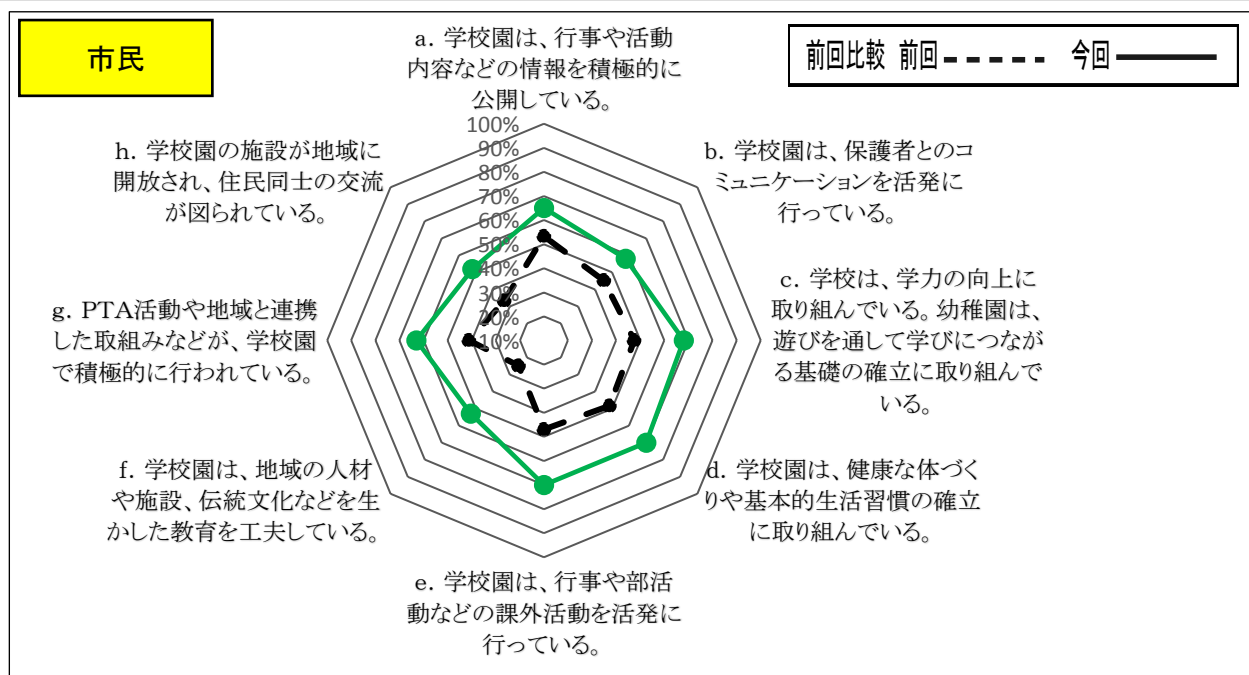


h. 学校園の施設が地域に開放され、住民同士の交流が図られている。



(3) 前回との比較

学校園に対する信頼感は、市民で大きく改善がみられる。(※前回とは市民モニターが回答)



学校園の信頼感など

【設問】

(市民)大阪市立学校・幼稚園(学校園)の印象について、あなたの考えにあてはまるものを1つ選んでください。

(保護者)あなたのお子さんが通学している学校園の印象について、あなたの考えにあてはまるものを1つ選んでください。

(教職員)あなたの勤務している学校園は、保護者からどのような印象をもたれていると思いますか。あなたの考えにあてはまるものを1つ選んでください。

【選択肢】 (市民・保護者)信頼している／どちらかといえば信頼している／どちらかといえば信頼していない／

信頼していない／わからない

(教職員)信頼されている／どちらかと信頼されている／どちらかといえば信頼されていない／

信頼されていない／わからない

回答結果（回答割合の合計）

学校園に対する信頼感は、市民で大きく改善がみられる。

肯定的割合の前回比較

前回 市民	市民 今回	前回 保護者	保護者 今回	前回 教職員	教職員 今回
55%	73%	87%	84%	90%	89%

